



THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

CHARTERED IN 2010

長野ワイズメンズクラブ 会報

2019年

3月 第100号

THE Y'S MENDS CLUB OF NAGANO

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENDS CLUBS

2018~2019年度主題

国際会長主題「私たちは変えられる」“Yes, we can change”

アジア会長主題「アクション！」“Action”

東日本区理事主題「為せば、成る」

あずさ部部長主題「未来はそれに備える人のものである」

長野クラブ会長主題” Change, challenge, and charge”変わろう 挑戦しよう そして充電しよう



今月の言葉

心を開き、わかちあう。前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ。

〈YMCAのブランドパーソナリティー〉

3月例会

日時 2019年3月20日(水) 6:30pm~

会場 レストランやま

司会 倉石 Y's

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング、ワイズの信条
3. 会長あいさつ 会長
4. ゲスト紹介 会長
5. 報告
研修会、5月11日の評議会について
大会参加について、ロースター原稿
会長
6. 吹き矢の体験会について 小林 Y's
7. ワイズディナー
8. 福島 Y's のカンボジアの旅報告
9. ニコニコ献金
10. 「お富さん」の歌
11. 閉会点鐘 会長

岩田幸雄さんが逝去されました

昨秋来既往の病で入院しておられた岩田幸雄ワイズが懸命の闘病の甲斐なく、3月10日午後6時過ぎに亡くなりました。インフルエンザの蔓延時に入院されたためもあって、お見舞いもかなわず、電話もこちらからはできない状況でしたが、治療の合間に岩田さんから、「よろしく頼む」と電話をくださるほど、長野クラブの活動について心配していただきました。

まさか、入院が長引き、そのうえ亡くなってしまうなんて、実に残念です。ご自身が病後の体力づくりにもなるからと力を入れておられた「スポーツ吹き矢」を例会で体験させてくださったり、ユニバーサルサポーターの活動を次々に実行してくださったり、短い間に大活躍をしてくださいました。岩田さんの冗談は例会をいつも明るくして下さいました。本当にお世話になりました。今月末には、第2回の吹き矢体験会が実現します。どうか天国にあっても私たちを見守ってください。

森本俊子

(2017年4月入会時の岩田さん)



1月のデータ

在籍会員 12名
例会出席者 8名 (67%)

例会のご案内

毎月第3水曜日 2019年4月17日
18時30分から20時30分
ところ レストラン やま
連絡先 会長または書記へ
tokoton921@gmail.com (森本会長)
koba31819@outlook.com (小林書記)

会長 森本俊子
副会長 福島貴和
書記 小林美彦
会計 倉石美津子
ブリテン 堀内雅俊
担当主事 露木淳司

2月の例会報告 森本俊子

出席者 久保田恵子、勝田いつ子、倉石美津子、福島貴和、堀内雅俊、森本俊子、

レギュラーメンバー岩田、小林、玉木 Y's が欠席だったので、さみしい例会だった。しかし、出席したメンバーで、ある意味「腹を割って話す機会」が持てて意味はあったと思う。次期会長の選出についてもはっきりした結論が出なかったので、とりあえず、今年の体制で活動することになった。ただ、長野市のボランティアセンターへ3月から登録し市のボランティア活動にも参加することにした。(4月から改めて入りなおすことになる) それにより、ボランティアセンターを使用することが可能になる。小林 Y's から提案があった時に登録していれば、5月11日の評議会にも会場として使えたかもしれないのだが、躊躇していたために実現しなかった。ごめんなさい。以下に今期の活動をまとめてみたのでお読みいただきたい。

CS事業報告(3月1日現在)

長野ワイズメンズクラブ会長 森本俊子

長野クラブは、今期、東京オリンピック、パラリンピックを目前にして、オリンピック、パラリンピックを20年前に行った長野市としての課題として、障がい者に優しい街づくりを見ていこう。協力していこうという目標の元に活動をしました。

昨年5月から始めた本年3月までの活動のまとめ

障がい者差別撤廃法に基き障がい者に優しいお店プロジェクトが立ち上げられたので、5月の例会には、長野市の障害福祉課の関口善人さんを招き話を伺った。それにより、6月20日と27日に長野駅周辺と繁華街権堂町で行われる「駅バル」「権バル」に参加を決め、特に「権バル」は6月例会の日程をその日に合わせてクラブ員全員参加として楽しんだ。システムは1店700円(一品と飲み物)で5枚つづりのチケットを購入し、飲み歩くという方式。長野クラブでは、福島ワイズが所属する「坊さんの会」が出店する「ぼーずバル」にも顔を出した。このバルは、坊主の会が震災復興に支援を続ける大船渡の鮮魚を提供するお店とあって大人気、繁華街権堂町は開始時間前から賑わった。(同会は毎年さんまの振る舞いをセントラルスクエアなどで続けてきた)長野クラブが例会を持つレストランやまも当然参加しており、この日はおいしいコーストビーフとワンドリンクだった。

この企画は秋にも行われ、10月のあずさ部長訪問の日がちょうどその日とあって、部長夫妻にも泊りがけで参加いただき、車椅子ユーザーも一緒に3、4軒を飲み歩きながら大いに夢を語り合うことができた。

この間、信州ユニバーサルサポーターズ(会長小林美彦ワイズ)の主催する車椅子対応ツアーで、7月は25日に上高地へ、8月は24日に、今期運行最後となるトロリーバスに乗るため、黒部第四ダム(くろよんダム)へ出かけた。

10月には昨秋から寄贈を予定していた桜の苗木を東北の茨浜地区に植樹することになり、車いす対応の車と運転手をかの「障がい者に優しいお店プロジェクト」主要メンバーの大日方勇さんに手配いただき一行6人で行くことができた。石巻広域クラブの清水ワイズ、日野ワイズ、むかでクラブの城井ワイズはじめ大勢の皆さんの尽力で、津波の教え石の傍に、松代紅エドヒガン桜2本を植えることができた。さすが仙台YMCAの清水ワイズの仕切りとあって、現地の中学校が全員で歓迎してくださり、桜がその場所で咲いて希望の証となってくれればと、夢が膨らんだ。(実生の桜なので、種からすれば5年目、来春には花が咲く可能性が大といわれている)

この活動では東日本区の活動支援金をいただくことができ大変助かった。

⇒次ページへ続く

10月には昨秋から寄贈を予定していた桜の苗木を東北の茨浜地区に植樹することになり、車いす対応の車と運転手をかの「障がい者に優しいお店プロジェクト」主要メンバーの大日方勇さんに手配いただき一行6人で行くことができた。石巻広域クラブの清水ワイズ、日野ワイズ、むかでクラブの城井ワイズはじめ大勢の皆さんの尽力で、津波の教え石の傍に、松代紅エドヒガン桜2本を植えることができた。さすが仙台YMCAの清水ワイズの仕切りとあって、現地の中学校が全員で歓迎してくださり、桜がその場所で咲いて希望の証となってくれればと、夢が膨らんだ。（実生の桜なので、種からすれば5年目、来春には花が咲く可能性が大といわれている）

この活動では東日本区の活動支援金をいただくことができ大変助かった。

桜の苗木関連では、苗木を種から作り、接ぎ木して元の木に近いピンクの花が咲く準備をしている会の長澤定人氏を例会に招き、お話を伺ったほか、下諏訪の桜の名所「水月園」の植樹計画への協力（20本贈呈）長野市浅川のダム周辺、霊園周辺への植樹計画への橋渡し（70本）など「松代千本桜作戦」の起爆的な活動ができたと思う。

ユニバーサルサポーターズはその後、11月は新潟へワインづくり発祥の地を訪問、お店作りのやさしさに感動した。2月は御神渡りはならなかったが、諏訪湖の初春を感じる旅を行った。

3月30日には長野市のふれあい福祉センター5階で、スポーツ吹き矢の体験会を開く。主催は、玉木一成ワイズが役員の（公益財団法人）全国脊椎損傷者連合会長野支部で、ユニバーサルサポーターズと長野ワイズメンズクラブは全面協力する。35名を募集している。

このほか福島ワイズが理事を務める「聖地の子供たちに平和を」というプロジェクトが企画する「イスラエルとパレスチナと日本の青年たちの交流事業」にも協力し、長野クラブからも6人のメンバーが参加した。寄付も行った。

岩田幸雄さんからの寄稿（2017年5月の寄稿文から）

生きがいの花が開いた！ 岩田幸雄ワイズ

年齢70にして新たな挑戦に面白さを感じ、「出会い、触れ合い」の不思議さを痛感しております。昨年の初秋に冠動脈狭窄で緊急入院によるステント処理を行い、狭心症を宣告されました。さらに突発性血小板減少紫斑病なる指定難病を通告され、残りの人生を思い悩み、誕生日を病院のベットにて過ごしておりました。そんな折に、小林さんご夫婦に、長野ワイズメンズクラブを紹介され、「萎れかかった草花も、水の遣り様で花も咲かす」と思い、声が掛かった時が塩梅と入会をさせて戴きました。ワイズメンズクラブの行動、信州ユニバーサルサポーターズの取り組みなどに触れ、未経験の分野や今まで接触し得なかったことに拘わり、ベットで思いあぐねていたことはなんであったのかとの思いです。更に楽しく嬉しいことは、意気軒高と活躍されるワイズメンズクラブの皆さんのパワーを戴けること、JINRIKI（ジンリキ）に拘わることで、障害者の皆さんやサポートをされる方々を始め、行く先々で多くの方々と触れ合うことにより、新たな視点での目標が持てたことです。萎れかかった花も頭を擡げ始めました。

種が実を結んで募金となる

山梨 YMCA 総主事 露木淳司

新会館建設募金が始まりました。早速皆様方からのご支援が集まっておりますこと、まずもって厚く御礼申し上げます。ワイズメンの方々を含む賛助会員の皆様に案内をお送りして約2ヶ月が過ぎました。現在、申込み総額は目標7,500万円に対して、1,000万円を超えたところです。人数にして68名。そのうちワイズメンの方は20名です。本当にありがとうございます。私が初めて山梨に来て早15年になります。募金をくださる方はもちろん日頃からお世話になっている方も多いのですが、数回しか会ったことのない方々やほとんど面識のない方々もたくさんいます。そんな見知らぬ方から募金をいただく度に、この町で過去にYMCAを愛した人々が、かくも多くいらっしやったことに驚きます。その方々を心の絆でつなぎとめていただいている大澤英二理事長を始め、歴代役員、職員の皆様、呼びかけ人を担っていただいている諸先輩方の人望の厚さに感謝すると共に、戦後の焼け野原からYMCA運動の種を蒔き続けてくださった偉業に心から敬意を表します。募金はその種が実を結んだ姿に他なりません。

創立当初から今日まで山梨YMCAを支え続けて来られた皆様は、今後も引き続き世界を見つめ、地域に根ざす運動をこの山梨の地において継承することを望んでおられるのだと思います。私たち職員はその皆様からのご期待と本来YMCAに備えられた使命を具現化していく役割を担っています。募金をいただく度に、その責任の重さに身の引き締まる思いです。同時に何としてもこのYMCA運動を未来につなぐため、その種から育った芽を大きな樹木に育て上げ、花を咲かせ、実を結ぶための努力を惜しみません。そのためにも今回の新会館建設を何としても成功させ、新しい時代を創っていかなければならないという使命感を覚えます。



～春休み 吹き矢体験会のご案内～

昨年引き続き ズボーツ吹き矢の体験会を行う事になりました。障害があっても、なくても楽しく体験ができます。

2019年 3月 30日(土)13:00～16:00

長野市ふれあい福祉センター5階ホール

参加無料(募集人数 35名)

ながの市報で案内を出したので、子供2人を含めかなり応募が来ています。

長野ワイズからは、久保田、勝田、倉石、小林、玉木、堀内、森本が参加予定です。

当日は11時にクラブのユニフォームで会場へ集まってください。

(昼食は用意されています。)

主催: 公益社団法人 全国脊髄損傷者連合会長野支部

後援: 長野市

協力 長野ワイズメンズクラブ

信州ユニバーサルサポーターズ

運営: オフィス KOB A

お問い合わせ:026 223 0222

これからの予定

2月20日(水)例会

3月9日(土)10日(日)次年度役員研修会
国立オリンピック青少年研修センター

5月11日(土)長野市勤労者福祉会館しなのき
長野クラブホストで、あずさ部第三回評議会

6月1日(土)2日(日)国立オリンピック記念青少年総合センターで 東日本区大会

クラブ費の振り込みをお願いします

ワイズ会費を払うことが、ワイズ活動のボランティア参加に直結しています。

今年度後期会費(1月～6月)18000円のお振り込みをお願いします。(1年分は36000円です)

八十二銀行 昭和通営業部番号 214)

普通預金 口座番号 871118

長野ワイズメンズクラブ会計

倉石美津子